

「第 18 回細菌学若手コロッセウム」 開催報告

令和 6 年 9 月 27 日から 9 月 29 日の 3 日間にわたり、第 18 回細菌学若手コロッセウムを大阪公立大学 学術情報総合センター（大阪府大阪市）において開催し、無事に終了いたしましたのでご報告申し上げます。

昨年度に引き続き学会形式での開催とした本年度は、30 名の学生を含む、46 名の参加者を迎え、特別講演 2 題、一般演題として口頭発表 18 題、ポスター発表 33 題があり、活発な質疑応答や討論が見られました。特別講演には、Chih-Horng Kuo 先生（Academia Sinica, Taipei）、北尾 公英先生（北海道大学）を招待し、研究成果とともに留学経験やライフイベントも含めたこれまでのキャリアについても紹介していただきました。参加者による投票のもと、特に優れた口頭発表を行った 1 名に対して若コ最優秀賞を、優れた発表を行った 2 名に若コ優秀賞、特に優れたポスター発表を行った 1 名に対して若コ最優秀ポスター賞を、2 名に優秀ポスター賞を授与し、ASM Young Ambassador to Japan を務められている藤木純平先生（酪農学園大学）のご協力のもと、ASM Best Poster Prize を学生 1 名に授与しました。

また、参加者間の交流の場として 1 日目に walking poster、2 日目に懇親会を実施しました。今回、初めての取り組みとして、名札の代わりに研究内容や自己 PR を記載した A3 サイズのポスター使用する「walking poster」を取り入れました。会期全体にわたって参加者間で活発に交流が行われ、開催後のアンケートでは、「walking poster は簡単に自分の興味のあるポスターを発見でき、かつ初日の交流を深めるきっかけになるのでとても良いと思った」、「研究のモチベーションがますます高まりました！」、「様々な先生方とお話ができて有意義な時間を過ごせた」、「様々な分野の方がいて大変良かったです」などの感想をいただくことができ、本研究会が目指す、広範な分野の細菌学若手研究者の交流を達成できたと考えております。このように、本研究会の開催によって、細菌学の将来を担う若手研究者の活性化や教育に微力ながら貢献できたと考えております。

本研究会は、日本細菌学会から多大な支援を受けて開催されたものです。ご支援について、日本細菌学会理事会および会員の皆様に改めて感謝申し上げます。世話人ワーキンググループは、今後ともこれまでと同様「細菌学」と「若手研究者の交流」をキーワードとして、学生の育成や若手研究者による学際的（横断的）研究の開拓、発展の場を提供することを目指しております。来年度は、代表世話人として岩野英知教授（酪農学園大学）が内定し、引き続き木村、須田、藤木の 3 名が世話人を務め、さらに 4 名程度の新世話人が参加する予定です。引き続き、本研究会の継続的な開催へのご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

第 18 回細菌学若手コロッセウム

代表世話人 宮田真人（大阪公立大学）

世話人：奥野未来（久留米大学）、木村宇輝（鳥取大学）

須田和奏（東京農業大学）、藤木純平（酪農学園大学）

水谷雅希（産業技術総合研究所）、宮下慎一郎（東京農業大学）